

SEIKEI RUGGER CLUB



~since 1923~

創部100周年記念強化寄付金のお知らせ

成蹊学園のラグビー活動は1923年（大正12年）に開始され、2023年に100周年を迎えます。関東大学対抗戦グループには、慶應義塾大学（1899年）、早稲田大学（1917年）、東京大学（1921年）、一橋大学（1922年）に次ぎ、明治大学・立教大学と共に1923年に創部された大変歴史と伝統のあるクラブであり、100周年を迎える事嬉しく思っております。

成蹊学園のラグビー部は、小学校から大学・OBまで縦の繋がりを大切にしてきたクラブであり、現在も学生はけやきグラウンドで共に練習に育む等、成蹊学園の課外活動の象徴として活動しています。

大学ラグビー部は、スポーツ推薦制度が無い中、大学スポーツらしく文武両道を実践しており、学生主体で活動を行いながらも、対抗戦グループで好成績を上げている点、ラグークラブ会長としても誇りに思っております。

高校ラグビー部は、過去3度花園出場をしており、現在でも上位校を脅かす存在として活躍しています。また、小学校・中学校とも昨年行われたラグビーW杯人気の影響もあり、部員も順調に増え、試合での勝利を目指すだけでなく、ラグビーを楽しむ環境を築いています。

創部100周年を迎えるにあたっては、一貫校の特色を生かした成蹊学園ラグビー部の活動の更なる活性化を図ると共に、大学・高校・中学の各チームにおいて、それぞれの目標を達成してもらう為に、現役強化のサポートを充実させていきたいと考えております。つきましては、ラグビー部強化と100周年記念事業を目的とする、寄付金の募集をさせていただきます。

これまで、成蹊学園ラグビー部を支えて頂いた多くの方々に、次の100年も引続きラグビー部が成蹊学園の象徴として活躍し続けられるよう、ご支援の程、何卒宜しくお願いいたします。



成蹊ラグークラブ
会長 貴島 健治

成蹊ラグークラブの皆様には、日頃より多大なるご支援をいただいております事、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

2020年度は、コロナ禍の影響により、現役には大変な一年となりましたが、中学・高校・大学共に無事にシーズンが終了できました事ご報告申し上げます。また、2023年に創部100周年を迎えるにあたり、今般「成蹊ラグークラブ 100周年記念式典実行委員会」を発足させた事も併せてご報告申し上げます。100周年に「史上最強の成蹊ラグビーチームを作り上げる」という考えの下、これまでも現役強化に取り組んでおりますが、未だ道半ばであり、更なる強化が必要な状況です。大学は「対抗戦Aリーグ定着」、高校は「花園出場」、中学は「東日本大会出場」と、それぞれの目標を達成するべく、日々練習に励んでおりますが、現役強化に直接結びつく支援（トレーニング・メディカル・食事環境の充実・遠征試合支援等）を、重点的、且つ継続的に行う事が肝要である為、引き続き皆様のご協力の元、支援を行ってまいります。今回改めて100周年に向け皆様のご厚情を賜りたくご寄附をお願いする次第でございます。何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



成蹊ラグークラブ
常任委員長 山崎 大樹



寄付金募集要領

【目的】

1. 現役強化及び環境改善に向けたサポート策

- ・トレーニング施設と設備の増強
- ・食環境の充実
- ・安全管理の徹底
- ・コーチングスタッフへのサポート
- ・部員確保

2. 100周年記念事業

- ・記念式典の開催
- ・記念誌の作成
- ・記念ジャージの新調 等

【目標額】

3,000万円

【募集要領】

- ・1口:1万円 (2口以上でお願いいたします)
- ・振込先:三菱UFJ銀行吉祥寺支店 普通口座 2648908
成蹊ラグークラブ100周年強化基金

※大口のご寄付等で、税制上の優遇措置を希望される場合は成蹊学園の寄付金制度をご利用いただけます。ご希望の際は、別途振込用紙を送付いたします。詳細は、ラグークラブまでご連絡ください。

メールアドレス: office@seikeiruggerclub.com

(メールには、「ご氏名もしくは法人名」「ご住所」「卒業年次」をご記入ください)

【募集期間】

2021年1月～2023年3月



【寄贈・ウエイト器具】



100周年実行委員

- 実行委員長 松田 多聞 (平成5年卒)
- 実行副委員長 松本 哲 (平成5年卒)
- 実行副委員長 山崎 泰嗣 (平成6年卒)

2021年2月吉日

成蹊ラグークラブ会員各位

成蹊ラグークラブ
100周年記念式典実行委員長

成蹊ラグークラブ100周年記念事業に対する寄付金提供のお願い

会員の皆様におかれましては、平素より成蹊ラグークラブの活動に多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

過去の成蹊ラグークラブ記念誌によれば、成蹊学園におけるラグビー部の創部は、1923年（大正12年）に、当時の成蹊中学校の生徒達が（我々にとっての大先輩という事ですが）、学校にラグビーボールを持ち込み、テニスコート等で遊び始めたのがきっかけとされています。他大学でも、1923年前後が創部年となっているケースが多く、日本ラグビーフットボール協会の設立が1926年ですから、成蹊も、日本ラグビーの黎明期からその発展を支えてきた古豪の一枚という事になります。

日本のラグビー界は、国内の人気という観点では、低迷期も経験していますが、その歴史の中で着実に発展を続け、2019年には、ラグビーワールドカップの開催国を務め、商業的に見事な成功を収めただけでなく、日本代表の戦績という観点でも、ワールドカップで初のベスト8進出という偉業を成し遂げた事は、まだ記憶に新しいと思います。献身的なタックルの積み重ね、少ないチャンスを逃さず得点に結びつける卓越した集中力等々、日本代表の崇高なパフォーマンスに、魂を揺さぶられた方も多いのではないのでしょうか？

同時に、日本・世界のラグビーが、ルール改正や制度の変更で、より激しく、より早いプレーが増加し、選手の大型化、競技の高度化が加速度的に進んでいる事実を目の当たりにされた事と思います。成蹊学園ラグビー部の競合校においても、特に大学レベルにおいては、プロコーチの採用、科学的なトレーニングや専門的な栄養学に基づく食事管理、綿密なデータ分析などは、今や当たり前の時代となりました。

この様な大きな環境変化が起こっている中で、成蹊ラグークラブも100周年を迎える訳ですが、本書面をもちまして、100周年記念事業の実行、並びに成蹊ラグークラブの益々の発展の為に、皆様からの寄付を募らせて頂きたく、ご協力

の程、衷心よりお願い申し上げます。

100周年実行委員会と致してましては、成蹊ラグークラブが元々掲げる「会員相互の親睦と成蹊学園ラグビー部の強化発展を図る」という活動目的に立ち返り、以下の2軸で、記念事業の準備／検討を進めて来ております。

【現役強化に直結する施策】

トレーニング環境改善を目的とし、OB会理事会の承認を頂きウェイトトレーニング機器の追加購入を決定いたしました。特に成蹊大学ラグビー部の環境は、トレーニング面のみに限らず、他対抗戦Aリーグ所属大学との比較において大きく劣後するものである事、御想像に難くない事と思います。現役学生からは、少しでもその是正に繋がる本施策への期待値が高かった事から、寄付金募集よりも先行して実行を決定したものです（実際の機器購入費用は、これまでの積立金より一旦充当させて頂く予定です）。追加購入した機器は、成蹊学園に寄付する形をとる事で、学園施設内への設置にご了解を頂いております（大学体育館、南体育館）。

今後は、高校・中学・小学校へのサポート案も具体化して参ります。食事や安全管理での援助を含め、様々な形でのサポートが可能と考えております。

【次の100年に向けた成蹊ラグークラブの永続的発展】

優秀な文武両道の人材の継続的な輩出を目指すと共に、大学・高校・中学・小学校一貫校の強みを活かした、成蹊ラグークラブの長期的な発展を実現するべく、成蹊ラグークラブ内外の縦横連携体制の再構築、成蹊学園やファンクラブとの連携強化も行って図って参ります。

これを実現するためには、ラグークラブとしての継続性のある資金確保も不可欠である事から、年会費・寄付金募集システムの再構築についても検討しております。

以上、成蹊ラグークラブ100周年記念事業に対する取組方針／内容についてご説明させて頂きました。会員の皆様におかれましても、当該主旨にご賛同いただけますと大変幸甚です。今回の寄付金に関する諸手続きにつきましては、同封したパンフレットをご参照いただきます様、よろしくお願い申し上げます。

以上